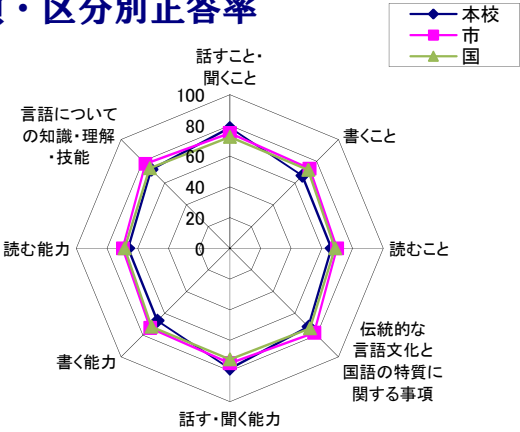


宇都宮市立上河内東小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

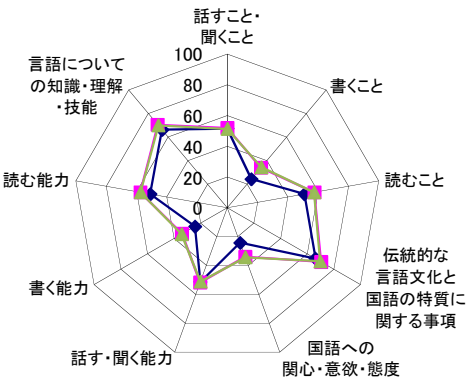
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	78.4	74.9	72.4
	書くこと	66.7	73.4	72.2
	読むこと	66.2	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.3	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	78.4	74.9	72.4
	書く能力	66.7	73.4	72.2
	読む能力	66.2	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	72.3	77.8	73.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	51.4	51.9	51.2
	書くこと	24.3	34.0	34.4
	読むこと	51.0	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.2	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	24.3	34.0	34.4
	話す・聞く能力	51.4	51.9	51.2
	書く能力	24.3	34.0	34.4
	読む能力	51.0	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	66.2	70.5	69.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○ほとんどの設問において、肯定的回答の割合が全国平均を上回っている。本校児童が国語の学習を好んでいたり、役に立つと思っていたりして、肯定的に捉えていることが分かる。目的に応じて資料を読み、話したり書いたりすること、考えの理由が分かるように気を付けて書くことなど、授業中目標をもって意欲的に学習している様子が伺える。
●「意見などを発表するときうまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。」の設問の回答率は、全国平均よりはかなり高いが、他の設問より比較的低くなっている。B問題の解答時間が十分だったと答えた児童の割合が、やや低かった。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○平均正答率は、AもBも全国平均を上回っている。話合いの観点に基づいて情報を関係付けたり、目的に応じて、話合いの観点を整理したりする力が身に付いている。 ●質問の意図を捉えること、相手の発言を引用して質問や意見を述べることに課題がある。	・「話す・聞く」能力を高めるために、児童の思いや意見を伝え合う機会を多く設定していく。 ・質問の意図を捉える力を付けるために、立場や意図を明確にして質問し合う話合い活動を設定し、多様な質問の観点とそれに基づく話し方を具体的に示しながら指導する。
書くこと	○複数の事柄を並列の関係で書いたり、文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択したりする力が身に付いている。 ●分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くこと、二つの詩を比べて読み、条件に合わせて自分の考えを書くことに課題がある。	・分かったことや疑問に思ったことをまとめた文章で書く際に、構成や記述に条件を示すようにし、書く力を付ける。 ・複数の詩の共通点や相違点を明らかにして特徴を捉え、その観点で考えを書けるよう指導する。
読むこと	○新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えたり、物語の登場人物の相互関係を捉えたりする力が身に付いている。 ●課題を解決するために、目次や索引を活用して本を効果的に読むこと、詩の解釈における着眼点の違いを捉えることに課題がある。	・調べ学習を行う際、課題に対する解答や結果の予想を立て、情報収集の方法など、見通しをもって本や文章を探して読むよう指導する。 ・自分の考えと相手の考えを比較しながら、共通点や相違点を整理する際、互いの考えを分類し、着眼点を明確にするよう指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○平均正答率は、AもBも全国平均とほぼ同じである。故事成語の意味と使い方については、全国平均を上回っている。 ●「祝う」の漢字の書きの正答率が低かった。	・似たへんやつくりをもつ言葉を関連させながら指導し、正しい漢字の読み書きの定着を図る。